

北海道サービス管理責任者基礎研修・児童発達支援管理責任者基礎研修

シラバス

【講義日程】

時 間	内 容
60分	サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方
90分	サービス提供〔支援提供〕のプロセス
90分	サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕 と個別支援計画の関係
150分	サービス提供〔支援提供〕における 利用者主体のアセスメント
60分	個別支援計画作成のポイントと作成手順

【演習日程】

時 間	内 容
9:15～11:00 (10分休憩)	インテーク演習
11:10～12:40	アセスメント演習
12:40～13:30	(お昼休み)
13:30～15:10 (10分休憩)	プランニング演習①
15:20～16:50 (10分休憩)	モニタリング演習
17:00～18:20	プランニング演習②
18:20～18:30	修了式

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス提供の基本的な考え方
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・ 本人主体の重要性を理解する ・ 社会モデルの支援観を理解する ・ エンパワメント、ストレングスモデルの意味や意義を理解する ・ チーム支援や連携の必要性について理解する
○	8 教科の概要	障害福祉サービス提供において前提となる基本的な考え方を理解します。特によく耳にする言葉「本人中心」について「社会モデル」「エンパワメント」「ストレングス」などの重要なキーワードと共に、実務的に理解を深めます。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・ 研修全体のねらい、障害福祉の基本的な理念（25分）、理解度テスト（5分） ・ 重要なキーワードの理解を深める（25分）、理解度テスト（5分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注）「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス提供のプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスと、そこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス提供の一連のプロセスを理解する ・ それぞれのプロセスのポイントを理解する
○	8 教科の概要	サービス提供プロセスの一連の流れ（インテーク、アセスメント、個別支援計画の原案作成、合意形成・会議の実施・合意形成、計画の実行、モニタリング）についての理解と、それぞれのプロセスの意味、重要なポイントなど、理解を確認しながら説明します。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・ サービス提供のプロセスの全体像(25分)、理解度テスト(5分) ・ 各プロセスのポイントその1(25分)、理解度テスト(5分) ・ 各プロセスのポイントその2(25分)、理解度テスト(5分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス等利用計画と個別支援計画の関係
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち、安藤寛将、大久保薫、金子志、木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、林範行、日置真世、増井滋美、横井和徳、吉田志信、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と相談支援専門員について理解を深める ・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の連動性について理解する ・ 本人中心の総合的な援助の方針を検討することができる
○	8 教科の概要	サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画、相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援責任者の関係について制度的な説明をすると同時に、具体例を通じて、両者の連動性や関係、なかでも、総合的な援助の方針の考え方や検討方法について理解を深めます。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・ 制度におけるサービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の位置づけの理解(25分)、理解度テスト(5分) ・ 実務におけるサービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の理解(25分)、理解度テスト(5分) ・ ニーズを踏まえ社会モデルで考える「総合的な援助の方針」(25分)、理解度テスト(5分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス提供における利用者主体のアセスメント
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義④サービス提供〔支援提供〕における利用者主体のアセスメント
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち、安藤寛将、金子志、木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、林範行、日置真世、増井滋美、横井和徳、吉田志信、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	150分
○	7 到達目標	・障害福祉サービスの分野を問わず、その概要について理解する ・サービスごとのアセスメントのポイントを理解することができる ・分野やサービスによる違いとともに、普遍性について理解する
○	8 教科の概要	主なサービスの種類や分野別の事業の概要、利用者主体のアセスメントのための姿勢などについて、各分野の講師から経験的な講義を聞きます。講義を通じて、障害種別や各ライフステージ、各サービス〔児童発達支援〕において留意すべき視点について理解します。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・サービスの種類と概要（15分） ・介護分野の講義（25分）、理解度テスト（5分） ・生活支援分野の講義（25分）、理解度テスト（5分） ・就労分野の講義（25分）、理解度テスト（5分） ・児童分野の講義（25分）、理解度テスト（5分） ・利用者主体のアセスメント及びまとめの理解度テスト（15分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 個別支援計画作成のポイントと作成手順
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・ 個別支援計画の法的根拠を理解する ・ 個別支援計画の趣旨と手順を理解する ・ 事例に即して個別支援計画の役割をイメージできる
○	8 教科の概要	個別支援計画の作成におけるポイントと手順についての事例等を活用し、作成の視点がリスクマネジメントのみに陥らないように、エンパワメントの視点やストレングスの活用について理解するとともに、作成の手順を習得します。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・ 個別支援計画の法的根拠(25分)、理解度テスト(5分) ・ 事例を用いた個別支援計画の作成手順(20分) 演習に向けた事前課題の説明(10分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 インテーク演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・他者の意見や視点を個別支援計画作成のプロセスに取り入れることができる ・初めての個別支援計画作成のためにニーズに迫るアセスメントの視点を理解することができる
○	8 教科の概要	事例を通じて、サービス提供における、インテークの役割やポイント、ニーズアセスメントをするための姿勢や方法について体験的に学びます。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・オリエンテーション(15分) ・グループ自己紹介、インテーク情報の共有(45分) ・ニーズの整理マップ、ストレングスシートの共有(30分) ・サービス等利用計画との連動(15分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 アセスメント演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕を参考にしながら、総合的な援助の方針と目標を作成することができる ・ 総合的な援助の方針と目標を出し合いながら、事例理解を深める検討をすることができる ・ グループで検討した内容をもとに、個別支援計画を作成することができる
○	8 教科の概要	グループ討議と個人作業を組み合わせながら、共通事例の個別支援計画を作成することにより、個別支援計画の理解と作成方法を学びます。アセスメントにおいては、相談支援専門員や本人と協働する視点についても体験的に理解します。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・ 総合的な援助の方針、目標の作成(15分) ・ アセスメント演習(30分) ・ 個別支援計画案作成演習(45分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	プランニング演習①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング） 及び記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	100分
○	7 到達目標	・自分の作った個別支援計画の原案を説明し、他者の視点を取り入れながら、内容の吟味を行うことができる ・個別支援計画の原案を修正し、完成させることができる ・個別支援計画が完成するプロセスを理解することができる ・サービス提供後のモニタリングの必要性や役割を理解することができる
○	8 教科の概要	自分で作成した個別支援計画の原案をグループで検討し、他者の意見を聞く、自分の視点を伝えることを通じて、効果的な議論や多様な視点を取り入れて個別支援計画を完成させていくプロセスを体験します。 また、事例に即しサービス提供後の状況をイメージしたうえで、本人の様子や意見、満足度を評価すると同時に本人のアセスメントを深めるやりとりを行います。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・個別支援計画案検討演習(45分) ・個別支援計画完成演習(10分) ・モニタリング準備演習(45分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	モニタリング演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）及び記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・モニタリングに必要な視点や方法について理解し、情報収集や情報分析に生かすことができる ・モニタリング情報を活用し、中間評価記録を作成する手順を理解することができる ・自らのモニタリング視点を説明し、他者のモニタリング視点を聞くことで、モニタリングを検討し、支援に生かすことができる
○	8 教科の概要	事例に基づき、与えられたモニタリング情報をもとに、一定の評価の視点を用いて、中間評価を行い、記録を作成します。個人ワークで作成した中間評価をグループで発表、検討を行い、モニタリング視点を広げます。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・モニタリング演習(30分) ・評価記録作成演習(30分) ・評価記録検討演習(30分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	プランニング演習②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング） 及び記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	80分
○	7 到達目標	・ 中間評価結果を用いて、修正プランを作成に生かす視点や内容を理解する ・ モニタリング～修正プランの作成の流れを体験することで、サービスの連続性について理解する ・ 計画作成のポイントについて、再確認し、理解を深める ・ サービス提供のプロセス全体像を理解し、現場に持ち帰ることができる
○	8 教科の概要	事例に基づき、モニタリング結果をもとに個別支援計画の修正作業を行います。サービス提供全体について現任者の話を聞くことで理解を深め、演習を振り返ります。 現場に持ち帰るための学びを整理し、これまでの現場経験も活かしながら、言語化します。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・ モニタリング結果分析演習(30分) ・ 修正計画作成演習(25分) ・ サービス提供プロセスまとめ演習(25分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	